

2024 年度新潟県栄養士会第 4 回理事会 議事録

1. 日時 2024 年 10 月 19 日（土）13:00～16:40

2. 場所 Web 会議

3. 理事現在数および定足数ならびに出席理事数およびその氏名

理事現在数 25 名 定足数 13 名

出席理事数 23 名

出席理事の氏名 斎藤トシ子、村山稔子、高橋洋平、山田祥子、伊藤涼子、
治田麻理子、石墨清美江、竹内瑞希、久志田順子、佐々木佳子、
内田悠香、中俣裕子、山岸美恵子、鶴川一寛、村山千晶、
内山智子、土田直美、堀川千嘉、丸山朝美、小林昌子、
渡辺絵里子、斉藤幸子、山川琴栄、

欠席理事の氏名 北林紘、金子幸子

4. 監事現在数および出席監事氏名

監事現在数 2 名

出席監事数 2 名 角谷ヒロ子、大平真由美

5. その他出席者

事務局長 阿部幸子

村上副支部長 宮村愛（北林支部長代理）

柏崎副支部長 近藤由香里（柏崎支部長代理）

6. 議長の氏名 斎藤トシ子

7. 理事会の議事の経過の要領およびその結果

Web 会議システムにより、出席者の音声と映像及び挙手などの意見表示が互いにできる
こととなっていることを確認するとともに、山田専務理事より、資料 p 28 と p 30 の変更内容
と資料差し替えについて報告があった。

は下記の通りである

P28：栄養ケア・ステーション分科会が県報告の後に移動。

ポスター発表は小研修室 2 へ移動、小研修室 3 はキャンセル

P30：話題提供者・発表者は資料作成代として QUO カード ¥1,000 分渡す

(1) 定足数の確認

理事及び監事 2 名は Web 会議システムによる出席とした。

この出席者について、阿部事務局長により参加者数の確認がなされ、冒頭で山田専務理
事が定足数の充足を確認し、本会議の成立を宣した。

議事・進行を会長へ渡し、議事に入った。

(2) 会長挨拶

斎藤会長より、参加監事・理事・代理に向け、上半期、精力的に活動していることに関して理事方々と事務局員へ感謝の意が述べられた。本日理事会の目的は来年度の事業計画の骨子の審議と上半期の活動報告であること、忌憚のない意見交換をしていただきたいことが伝えられた。

(3) 議案の審議状況および議決結果等

第1号議案 2025年度新潟県栄養士会事業計画（案）について（P3-6）

斎藤会長より、公1事業、公2事業、その他に関する事業について、主に以下の内容について説明があった。

- ✓ 各事業の要旨・趣旨、財源等の内容を確認し、来年度の事業計画、予算作成の参考にしていきたい。
- ✓ I-2-2 非常災害時について、今までは公益2であったが、最終的には被災者の健康支援に結びつくことから公益1事業に移動した

P5・II-1-1「小児期の肥満・やせ発育調査」について、土田理事から下記の補足説明および質問があった。

- ✓ 本調査は、旭川大の依頼が発端で10年以上調査されているものである。
これを受け、計画案の「2023年度に、公衆衛生事業部が中心となり・・・」の文章の2023年度を削除することとした。
(事務局の記録より 平成10年度より新潟県市町村栄養士協議会が市町村単位として調査を開始、平成24年度より新潟県栄養士会の公衆衛生事業部の事業として実施)
- ✓ 何年分のデータを整理する予定か。
斎藤会長からは今までのデータをまとめたいという意向が県栄に伝えられたため、県栄として何か手伝えることがあるのかも含め、「公衆衛生事業部、学術部及び研究教育職域事業部が連携し、データの整理について検討する」という内容にしている。詳細は不明である。まずは、データ管理をしている公衆衛生事業部小児肥満研究班と学術部、研究教育事業部等で、県栄として手伝いが必要かどうかも含め相談してほしい旨が伝えられた。

これを諮ったところ、賛成多数(挙手理事20名)により原案通り(一部の修正を除き)承認された。

今後の流れは、執行部、支部、職域理事から、次年度の計画・予算を提出していただく。提出された計画について学術部が、全体の内容、予算などを検討し、3月の理事会で諮る旨が示された。

第2号議案 支部理事(支部長、副支部長等)情報交換会の開催について(資料なし)

山田専務理事より、支部長、副支部長オリエンテーション開催の目的について説明が

あった。補足として斎藤会長より、関東甲信越会長会議において、他県会長との情報共有は有意義であり、課題解決策の参考になったため、支部長、副支部長間の情報交換会を提案したことが付け加えられた。

これを諮ったところ、賛成多数（挙手理事 16 名）により支部長、副支部長情報交換会を企画することが承認された。

第 3 号議案 2025 年度新潟県栄養士会総会について（資料なし）

山田専務理事より、2025 年 6 月 14 日（土）午前、新潟ユニゾンプラザでの実施（案）について、説明があった。

これを諮ったところ、賛成多数（挙手理事 20 名）により、日程及び場所が原案通り承認された。

参考：定款により定期総会開催については、理事会で諮るとされている。

第 4 号議案 新潟県栄養士会 80 周年記念事業について（P7）

村山副会長より、要旨、実施日、会場（案）等について説明があった。

実施日と会場について諮ったところ、賛成多数（挙手理事 17 名）により原案通り承認された。

さらに実施方法、内容等については、実行委員会へ一任してよろしいかについて諮ったところ、賛成多数（挙手理事 19 名）により承認された。

実施方法、内容については、実行委員会の案が固まり次第、理事へメール等で報告する旨が伝えられた。

第 5 号議案 賛助会員入会申請について（P8）

阿部事務局長より、尾家産業株式会社の賛助会員の入会申請について説明があった。

これを諮ったところ、賛成多数（挙手理事 19 名）により表記企業の入会が承認された。

さらに阿部事務局長より、以下の補足説明がなされた。

- ✓ 賛助会員の意味（企業が栄養士会会員になって運営を手伝っている）
- ✓ 現在の賛助会員数（40 社）
- ✓ 承認後の手続き、活動について

参考：定款により賛助会員の入会申請承認は、理事会で諮るとされている。

8. 報告事項

（1）2024 年度上半期の活動計画および進捗状況について

1) 業務執行部

〔学術部〕（P9-10）

治田学術部副部長より、資料に基づき、主に以下の内容について説明があった。

- 倫理委員会規程改定について
運営面の課題が多いため、運営委員会の再設立についてはさらなる検討が必要である
- 各種顕彰・表彰者増加を目的としたシステムの検討
当面の目標は会員の活動情報を事務局で収集し、新潟県栄養士会会長賞の設立を計画

している。それに対し斎藤会長より、会員の活動を表彰することは賛成であり必要であることから表彰基準を含め今後も積極的に検討をお願いしたい旨が伝えられた。

[事業部] (P11-18)

渡辺事業部部長より資料に基づき、主に以下の内容について説明があった。

- 新潟県栄養士会の災害時対応マニュアルについて
今後、発災時に誰がどのように動くのか災害時の現実的な意識付けができるフローを作成したい。事業部関係者へは、来週打合せの通知がなされた。

高橋副会長より下記の質問があった。

マニュアルのゴール設定は、詳細を含めた冊子として作成することでよいのか、マニュアル作成について、何をどこまで作成するのか知りたい。

(回答) 斎藤会長からは、2025年度の事業計画(P5) 2-2-2にも示しているが、支援活動を円滑に進めることができるような災害マニュアル(例えば、発災時に、誰がどのように動くのか、フェイズごとにどのような対応をしたらよいのか、栄養アセスメントシート等)を、県栄と連携して作成して欲しいこと、阿部事務局長からは、理事会資料P17の組織図に入る該当者は理事であるため、各自の役割・動きが把握できるマニュアル作成が望まれることが示された。斎藤会長より、P17の記名欄について、記名作成するののかの問いに対し、阿部事務局長より、本部は特定されるが、支部長以下の記入欄は、発災場所によって異なるため記名の必要なく、各支部単位で把握できれば良いことが示された。

土田事業部長からも、以下の補足説明がなされた。

対応表は新潟県の災害時栄養食生活支援活動ガイド暫定版から作成した。新潟県や日栄の災害マニュアルと動きが合わせられるものをイメージしている。フェイズごとのアクションカードについては来週、整理・追記案を検討するので、後日審議求むなど

[広報・情報部] (P19-23)

山川広報・情報部部長より、資料に基づき、主に以下の内容について説明があった。

- ホームページについて
- ✓ 現在、構成・更新等システム上課題があるため、広報・情報部とホームページ委員では、現状の課題を抽出し、来年度稼働するホームページリニューアル委員と連携をとりながらリニューアルを目指す。
- ✓ 活動紹介や全体の見直しについて、理事の協力なしにはできないため、理事とホームページ委員の連携・協力をしていただきたい。
- ✓ ホームページ運用について、県栄として規約がないため、多団体から情報を得て作成する予定である。

斎藤会長より下記の質問があった。

「ホームページを見てもらえるように宣伝」するために、具体的にどのような方法を考

えているか、閲覧数のカウントは把握できるのか

(回答) 山川広報・情報部部長からは、現在はカウントできるシステムにはなっていない。5年後のリニューアルの時にカウントできるシステムにできるのかについては、その必要性の要否、予算含め検討する必要がある、見てもらえるような方法としては、ホームページ委員を通して会員に情報提供することや、インスタを通して宣伝配信するのが現状である旨が説明された。

現在の HP に関する意見・感想を以下に示す。

- ✓ 土田理事（公衆衛生）：見やすい、工夫されている。
- ✓ 堀川理事（研究・教育）：見やすい、活用しやすい。学会発表・表彰等があると刺激される。学生からの発信を活用すると良い。
- ✓ 丸山理事（学校健康教育）：より活用できる方法を皆さんからご意見いただきたい。
- ✓ 小林理事（病院）：レイアウト見やすくなった。報告書について、監査内容の周知等、会員が情報を得られる、興味の持てるものがあると良い。写真などを載せ、目を惹くものであると良い。学会発表、表彰を載せると感化される。
- ✓ 渡辺理事（勤労者支援）：以前は何回か中に入らないと見られなかったが、改善され見やすくなっている。無関心の人・若い人から繋がりを持たせる工夫があると良い。
- ✓ 斉藤理事（福祉）：文字だけだと探しづらいので、読まなくても文字の大きさや色分け等の工夫でわかりやすくなると良い。
- ✓ 斎藤会長：会員の生き生き活動している写真が掲載できるとよい。機関紙も同様であるが、事業内容については、活動した結果について、図・表等で示すことが必要ではないかと考える。5年後の回収に向け、検討していただきたい。

● 機関紙 栄養新潟 24 年 56 号について

主に以下の内容について説明があった。

- ✓ p 23_※24 年 26 号▶※24 年 56 号への訂正する
- ✓ 総会資料は合併号で発刊予定。
- ✓ 役員紹介は、日栄の日本栄養士会雑誌トップランナーをイメージしている。
- ✓ ボリュームは昨年度より抑える。
- ✓ 12 月に依頼文、1 月中旬に寄稿締め切りが通達され。協力依頼があった。
- ✓ 来年度のデジタル化について検討し、可能であればホームページに載せる予定
- ✓ 資料の「抱負や自己紹介」は 1 年目の理事の方がイメージするには暗中模索状態になると考えての記載であり、活動内容や写真でもかまわない。

支部長等による、機関紙；栄養新潟 24 年 56 号の構成についての意見を以下に示す

- ✓ 伊藤支部長（新発田）：写真を入れると見やすくなる。
- ✓ 石墨理事（新潟市）：自己紹介は顔が見える関係作りの上では必須だと思う。自己紹介コーナーをまとめて、その後写真等楽しい写真をまとめる構成にすると良い。
- ✓ 佐々木支部長（佐渡）・内田支部長（三条）・中俣支部長（長岡）・近藤副支部長（柏崎）・鶴川支部長（魚沼）：職場等で生き活きと活動している内容や様子がわかる写

真を載せると良い。

- ✓ 村山支部長（十日町）：地域別食形態一覧、更新方法についてホームページに掲載されていることを知らない方もいるため、掲載案内・更新可能である旨の掲載があると良い。
- ✓ 内山支部長（上越）：支部長紹介は名前くらいで良い。顔写真は個人情報流出のリスクがある。
- ✓ 斎藤会長：職域部長や支部長等の「抱負・自己紹介」は後半にまとめて載せ、会員の活動紹介をトピックスに入れる構成がよい。

（回答）山川広報・事業部長からは、それぞれの抱負・自己紹介というより、活動内容・自己紹介含め写真（同意者）等ご寄稿いただくよう構成内容の再検討をする旨が示された。村山支部長のご意見に関しては、栄養ケア・ステーション部に相談することが示された。

〔研修部〕（P24-31）

斉藤研修部部長及び関係者より資料に基づき、主に以下の内容について説明があった。

● 新潟県栄養士大会について

- ✓ 午後の各セッションの謝金について（山田専務）
話題提供者・発表者については、資料作成代として QUO カード¥1,000 とする。当日話題提供者・発表者が運営スタッフの一員であった場合は、日当・旅費は支払うが、運営スタッフの一員でない場合は日当・旅費の支払い対象にはならない。
- ✓ ポスター発表の推薦及び分科会について（堀川研究・教育事業部長）
各職域事業部長からの抄録作成方法・運用について補足があった。
北林学術部長から預かった資料を共有し、ポスター発表の趣旨等が報告された。
※追加資料は理事会終了後、末頁に添付した。（P73）。
- ✓ 抄録等の作成依頼について（斎藤会長）P31
午後の各分科会代表者に抄録を提出していただきたい。フォーマットは後日送る。
- ✓ 参加者数の確保について（斎藤会長）
各職域から会員数の 1～2 割の参加、学生の参加勧奨をお願いしたい、

理事からの質問や意見、それに対する回答を以下に示す。

- ✓ 土田理事より「分科会の代表」とは職域事業部長なのか。
（回答）斎藤会長からは、例えば公衆衛生事業部統括の場合は公衆衛生事業部の中で話し合い、代表を決めていただきたい旨が示された。
- ✓ 各職域からのポスター発表はポスターのみか、オーラル（口頭発表）か
（回答）斎藤会長よりポスターのみである旨が示された。
- ✓ 土田理事より、ポスター発表者をお願いして来ていただいても QUO カードのみであり、旅費日当の支給はないのかという質問がなされた。本件に関して、学会は、自分から応募して発表するが、今回は、県栄からの依頼のような形での発表であることから、役員会にて意見があった旨が示された。

(回答) 斎藤会長から、本会運営費を鑑み、今回の謝金にてご了解をいただきたい旨が示された。

- ✓ 山川理事より、QUO カードは、誰が準備するのか

(回答) 阿部事務局長から、各分科会で経費精算書として提出していただきたいと思っているが、現段階では未定。決定次第、具体的に知らせる。

- ✓ 渡辺理事より学術部発表は、必ず職域で立てなければならないか

(回答) 斎藤会長より、必須ではなく発表していただける方で良い。

- ✓ 丸山理事より運営スタッフの人数制限はあるか

(回答) 斎藤会長より、内容によって必要最小限でお願いしたい。

- ✓ 発表者も参加申し込みをするのか

(回答) 斎藤会長より事務局と連携していただきたい旨が示された

補足として、斎藤会長からは、特別講演の佐藤晶子先生には、午後の分科会に参加する場合は、「2,000 円の支払いが必要」と伝えていることが示された。

[栄養ケア・ステーション部] (P32-34)

久志田栄養ケア・ステーション部部長に報告をしていただく予定であったが、議長の不手際により、報告が抜けてしまった。

2) 委員会

[災害対策委員会] (P35-36)

土田理事より総合防災訓練が南魚沼市で開催されるという補足説明があった。

[会員増対策委員会] (P37~38)

渡辺理事より資料に基づき報告がなされた。

[顕彰・表彰委員会] (P39~40)

斎藤会長より資料に基づき概要説明がなされた。

3) 支部

[村上支部] (P41~44)

宮村副支部長より資料に基づき報告があった。

公益1を5つ、公益2を1つ計画があり、計画通り進行し4事業終了した。次年度も助成金獲得をめざし、活動規模拡大で進めていることが補足された。

斎藤会長より、村上支部は会員数が少ないにもかかわらず、これだけの事業をこなすのは、大変ではないかという労いの言葉がなげかけられた。宮村副部長からは、人数が少ないことが功を奏し、顔の見える関係となり、協力体制が得られていることが説明された。また、斎藤会長より、他の支部で助成金を獲得したい場合は、「助成金申請の書き方などを北林理事に問い合わせても良いのでは」と提案があった。

[新発田支部] (P45)

伊藤支部長より資料に基づき報告がなされた。

[新潟市支部] (P46)

治田支部長より資料に基づき報告があった。

斎藤会長より「歯と口の健康フェアの参加者が306人多いことに対して、どのような周知をしたのか」について質問がなされた。治田理事からは、「前年度からの計画であるため把握できていない」ことが示された。

[佐渡支部] (P47)

佐々木支部長より資料に基づき、主に公益1事業について報告があった。

理事会翌日、高齢福祉課主催「健康フェスティバル」への参加、元気100歳いいねかつちゃ弁当販売、フレイル予防周知の活動を実施する。

斎藤会長より「元気100歳いいねかつちゃ弁当の販売とは何か」という質問がなされた。佐々木理事より、いいねかつちゃ弁当の販売とは、佐渡市主催であり、コロナ前から5年間佐渡市の食材を使用し高齢者に食べていただきたい1食分のお弁当コンテストを行い、表彰された弁当について某弁当業者とコラボして一般販売する取り組み事業だったが、今年はその事業がなくなったため、栄養士会が献立作成し弁当業者に作成していただき、健康フェスティバル販売することとなったということの説明がなされた。

[三条支部] (P48～49)

内田支部長より資料に基づき報告があった。

斎藤会長より「まんま塾とはどのような内容か」という質問がなされた。内田理事より三条市の健康づくりの取り組みの一部である旨が説明された。さらに斎藤会長からは、歯と口の健康フェスティバル終了後、アンケート調査等はお行っているかという問いに対し、内田支部長からは、三条支部では実施しておらず、歯科医師会で行ったかは把握していないという説明がなされ、斎藤会長からは、今後アンケート結果があると次の企画につながるので次回検討して欲しい旨が示された。

[長岡支部] (P50～52)

中俣支部長より資料に基づき報告がなされた。

未記載事項として、下記事項が報告された。

- ・医療部会として12/22、糖尿病のつどいにブースを設け、対象者及びその家族、予備軍を対象に栄養指導を行う予定である。
- ・11/19嚥下・咀嚼、フレイル予防の研修が予定されている。

斎藤会長より、スタッフ研修について、可能であれば他支部にも声掛けをして沢山の方に聞いていただけると良い旨が提案された。さらに、ともしび祭りの参加者が512名多いことに対し、どのような人が集まったのかについて質問がなされた。中俣理事より家族連れが多かったことが説明された。

山川理事より、ともしび祭りで使用した『持ち帰り冊子』の作成担当者を知りたいという質問があった。中俣理事よりヤクルトの資料であることが説明された。『うんちクイズ』

に興味があるので情報が共有されると良いと要望があり、中俣理事より津軽会員に確認する旨が伝えられた。

※事務局による事後対応：長岡支部の資料内に、外部者の個人情報の記載があったため理事会終了後、P52 については、個人名を消した資料に差し替えた。

[魚沼支部] (P53-54)

鵜川支部長より資料に基づき報告がなされた。

未記載事項として、下記事項が報告された。

- ・12 月に第 2 回支部会開催予定である。
- ・10/17 在宅医療福祉連携推進事業について、十日町支部合同で、トリプル改定に合わせて、医療・介護・障害の各分野ごとに講演・グループワークの研修が実施され、11/28 に 2 回目が開催予定である。

[十日町支部] (P55-56)

村山支部長より資料に基づき報告がなされた。

未記載事項として下記事項が報告された。

- ・魚沼報告同様 10/17、11/28 に合同で、在宅医療福祉連携推進事業の研修が行われる。

[柏崎支部] (P57-58)

近藤副支部長より資料に基づき報告がなされた。

斎藤会長より、多団体ネットワーク事業として、『学校給食共同調理場運営委員会』に参加している方は一人なので、その情報は学校にどのような形で伝達しているかという質問がなされた。

土田理事より『学校給食共同調理場運営委員会』については、自治体主体で開催されている会議で、各学校栄養教諭が全員参加しているため栄養士に情報は共有されている旨が補足された。PTA、学校長方々が参加する会議であり、委員として委嘱されて参加している会議であることも補足された。

[上越支部] (P59)

内山支部長より資料に基づき報告がなされた。

未記載事項として、下記事項が報告された。

- ・震災時の災害食についてホリカフーズ様を招待し、災害食の研修及び JDA リーダーから能登地震に赴いた体験談・栄養士の動きを研修した。
- ・10/25 在宅医療推進事業としてオンラインにより 40 名参加し、報酬改定のポイント、食事形態更新・活用という内容で研修が実施される。

支部全体へのコメントとして、斎藤会長より研修内容について、同じような研修をいろいろな支部が行っているケースがあるので、研修計画作成時に支部間で連携できると良いという提案がなされた。

4) 職域事業部

報告なし

(2) 新潟県栄養士会勤労者支援・地域活動事業部統合について (P60)

阿部事務局長より、資料に基づく報告がなされた。

角谷監事より、以下の質問がなされた。

日栄は『政策集団』として、勤労者支援・地域活動を統合しているが、両職域にどのような接点があって一つの集団にすることになったのか教えて欲しい。県栄としては、勤労者支援と地域活動職域では、それぞれの活動が違うので、困っている。

(回答) 斎藤会長から、以下の説明がなされた。

政策集団は各職域で働く栄養士・管理栄養士の処遇改善や活動の幅を広げることを目的としている。現在、勤労者支援の会員は受託給食会社（企業）が多くを占めているが、ハードな勤務、給与等の問題から、離職が多く会員増につながらない背景がある。また地域活動職域としては、薬局（企業）に勤務する管理栄養士・栄養士がどんどん増えているにもかかわらず、会員数は少ない。管理栄養士として入職しても、専門職としての扱いをしてもらえない薬局もあり、離職が多い。令和6年度のトリプル改定において、栄養ケア・ステーションの拡大・活用が謳われていることから、企業（受託給食会社および薬局）に認定栄養ケア・ステーション等を作ることができれば、管理栄養士・栄養士の活躍の場は広がり、管理栄養士・栄養士のやりがいにつながるものが想定されるとともに、地域包括ケアの実現に寄与できる可能性がある。このような背景のもと2年にわたり日栄と県栄会長とが諮問会議などで議論してきた結果、日栄としては、国への政策提言をする集団として、勤労者支援職域と地域活動職域を統合し、「フリーランス（いわゆる地域活動をしている方）・栄養関連企業等」にすることになった。

それに対し、角谷監事より、

今後地域活動の若い方は起業する方もおられるだろうが、現段階において地域活動は本来公益事業（公衆衛生）に関わっている人が多い。薬局及び受託給食会社の勤務は会社に所属する勤務者であり、フリーランスとは違い、一緒の政策は難しい。統合後の日栄への代表者は一人であるため様々な問題があり議論が必要と感じる、との旨のご意見をいただいた。

(回答) 斎藤会長からは、以下の説明がなされた。

栄養士大会において勤労者支援・地域活動のディスカッションが設けられているので新潟県として統合するのが良いか、今のままでいくのかについては、将来展望を見据え、議論していただく旨が示された。

(3) 2024 年度関東甲信越支部会長会議について (P61-62)

斎藤会長より、資料に基づき、主に以下の内容について報告があった。

- ✓ 統一議題として、47 都道府県の会員増対策について、新潟県の会員増対策の参考にしたい
- ✓ 日本栄養士会は政策を作り、その政策実現に向け、議員にお願いする組織が連盟で

あることから、栄養士会と連名は、一体となって活動する必要がある

- ✓ 来年の関東甲信越支部の会議会場は、新潟県になる。関係者の協力をお願いしたい。

(4) 新潟県栄養士会 HP における食形態一覧表提示について (P63-64)

久志田理事より資料に基づき報告がなされた。

(5) 2024 年度上半期の代表理事、専務理事業務執行報告について (P65~68)

会長、副会長、専務理事の 2024 年 6 月 15 日から 2024 年 9 月末までの業務執行状況について、資料に基づき報告があった。

参考：定款 39 条及び理事会運営規則第 17 条に基づき、代表理事（会長、副会長）および専務理事の業務執行報告が義務付けられている

(6) 2025 年度事業予算提出の留意事項等について (P69-70)

阿部事務局長より、予算提出時の留意事項および連絡について、資料に基づき報告がなされた。

主な留意事項、連絡事項を以下に示す

- ✓ 1.について、前年度の用紙の年度を変えて提出する支部が多いが、必ず本年度を振り返り、目的・内容を検討の上、提出する。
- ✓ 4.について役員全員が運営することのないように計画する。
- ✓ 提出○（2つ目）について、事業部による精査は 12 月×1 回、1 月×1 回行われる
- ✓ 予算書全体で 100 万赤字になるため、運営人数が適正か等、精査する。
- ✓ ①について、防災訓練の会議は 3 回あり、当日の動きについては事務局が相談に乗る。また当日担当は JDA-DAT リーダーによるお手伝いがある。
- ✓ 事業計画書の表題の 2024 年度は、2025 年度に訂正をお願いする。
(理事会終了後訂正済)

(7) 議事録作成のポイントについて (P70)

斎藤会長より資料に基づき、作成する際の留意事項について説明があった。

さらに、資料に記載していないこととして、以下の依頼があった。

- ✓ 各支部等の活動で、展示ブースを行ったというような場合は、誰がそのブースを担当してくれたのかについても、記載していただきたい。
理由は、活動者の実績を記録し、会長表彰等の参考資料にしたいためである。

(8) 新潟県栄養士会として活動する際の留意事項について (P71)

山田専務より資料に基づき、主に以下の留意点について、報告があった。

- ✓ 県、市、他団体などから依頼があり、県栄の管理栄養士・栄養士として会議やイベント等の業務を受ける場合は、必ず、県栄に、事前の届出および報告書の提出をお願いしたい

(理由)

- ・6 月の引き継時に、前年度の経費と異なることがある。
- ・報告書が挙がらないため本来支払うべき経費が支払われていない可能性がある

・県栄に主催者側から問い合わせが来ても県栄側に依頼文がないため答えられない
(現状)

個人に直接依頼されていたことがあり県栄が把握できていないことがあった。

支部長負担軽減及び県栄把握及び適正な事務処理の目的のため、会議主催等の依頼文書・要綱・資料等は県栄を通す旨の文書を郵送したが、9月時点で地域ケア担当者の報告がないため、再度のお願いをすることとした。

阿部事務局長より下記の協力依頼があった。

- ✓ 各支部・職域役員会は3/10前までには終わらせていただきたい。

理由:3月中に経費をまとめるにあたり、3月後半に経費が出ると決算が間に合わず、1つでも出ないと全部がストップしてしまう

中俣支部長より下記の質問があった。

- ✓ 経費至急が遅いので早めをお願いしたい、

(回答) 事務局長より

- ✓ 旅費日当は決算後の4月に1年分まとめて振り込むことについて、理事会で承認を得ている
- ✓ 経費振り込みに関しては、実施者からの申請書受領後、その都度振り込んでいる
(申請がなされていれば、決算が4/4のため3月には支払いが終わっているはず)

長岡支部 CKD に関しては後日直接説明する旨が伝えられた。

(9) その他

斎藤会長より、以下の連絡があった。

- ✓ 日栄のラオスへの栄養支援のメンバーについて

新潟県栄養士会会員2名『ラオ日栄改善プロジェクト』チーム参加依頼があった。
構成員メンバーとして学校健康教育事業部 齊藤公二氏(就任任期2026.6.30まで)
母子保健検討委員として公衆衛生事業部 磯部澄江氏(就任任期2026.6.30まで)

- ✓ 理事のHP掲載写真ご提出のお願い

会員または他関係者に、県栄の理事を紹介し見える化を図りたい。現在、写真を出してくださっている理事が半数程度のため、HPのレイアウトが整わない。ご協力いただける場合は10月末までにご提出をお願いしたい旨の依頼がなされた。

4. その他

山田専務理事より次第に基づき、次回常任理事会ならびに理事会の開催報告(日程と方法)があった。

5. 閉会

高橋副会長より、「各支部・事業部の報告で学びとなった。残り半期の活動を今後ともよろしく願いいたします」と閉会の挨拶がなされ、16時40分に閉会した。

この議事録が正確であることを証するため、出席した理事および監事は記名押印する。

2024 年 10 月 25 日

上記のとおり相違ないことを認めます。

出席代表理事 印

出席代表理事 印

出席代表理事 印

出 席 監 事 印

出 席 監 事 印

議事録作成者 専務理事 山田祥子